

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-516907(P2005-516907A)

【公表日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-547457(P2003-547457)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

C 0 7 K 16/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/06

C 0 7 K 16/24

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

霊長類におけるIFN- γ によって引き起こされる病的反応を予防または治療するための医薬組成物を製造するための抗霊長類IFN- γ 分子の使用。

【請求項2】

霊長類における敗血症または敗血性ショックを予防または治療するための医薬組成物を

製造するための抗霊長類 I F N - γ 分子の使用。

【請求項 3】

前記分子が、抗霊長類 I F N - γ 抗体またはそのフラグメントである、請求項 1 または 2 に記載の使用。

【請求項 4】

前記抗体が、抗ヒト I F N - γ 抗体 D 9 D 1 0 またはそのフラグメントである、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

医薬的に有効な量の抗霊長類 I F N - γ 分子を含む、霊長類における敗血症または敗血性ショックを予防または治療するための医薬組成物。

【請求項 6】

霊長類における I F N - γ によって引き起こされる病的反応の予防または治療における有効な量の抗霊長類 I F N - γ 分子を含む医薬組成物。

【請求項 7】

前記分子が、抗霊長類 I F N - γ 抗体またはそのフラグメントである、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記抗体が、抗ヒト I F N - γ 抗体 D 9 D 1 0 またはそのフラグメントである、請求項 7 に記載の医薬組成物。